

第 103 回全国高等学校サッカー選手権福島県大会 兼 第 60 回福島県高等学校サッカー選手権大会 実 施 要 項

1. 主 催

一般財団法人福島県サッカー協会・福島中央テレビ

2. 共 催

福島県高等学校体育連盟

3. 後 援

読売新聞社・福島県教育委員会・郡山市・福島市教育委員会・会津若松市教育委員会
二本松市教育委員会・須賀川市教育委員会・鏡石町教育委員会・富岡町教育委員会
飯舘村教育委員会

4. 主 管

福島県南サッカー協会・福島県県北サッカー協会・NPO 法人いわきサッカー協会
相双サッカー協会・福島県高体連サッカー専門部

5. 期日・会場

- | | | |
|---------|-----------------|--|
| 1 回 戦 … | 9 月 2 9 日 (日) | 鳥見山多目的広場、福島空港公園多目的運動広場、
二本松市グリーンフィールド、
会津総合運動公園多目的サッカー・ラグビー場 |
| 2 回 戦 … | 1 0 月 5 日 (土) | 鳥見山多目的広場、二本松市グリーンフィールド、
いたてスポーツ公園陸上競技場、富岡総合スポーツセンター
多目的広場 |
| | 6 日 (日) | 熱海フットボールセンター、二本松市グリーンフィールド、
日本大学東北高等学校 |
| 3 回 戦 … | 1 0 月 1 2 日 (土) | 鳥見山多目的広場、十六沼公園サッカー場、
会津総合運動公園多目的サッカー・ラグビー場 |
| | 1 3 日 (日) | 熱海フットボールセンター |
| 4 回 戦 … | 1 0 月 1 9 日 (土) | 鳥見山多目的広場、福島空港公園多目的運動広場、
十六沼公園サッカー場 |
| 準々決勝 … | 1 0 月 2 6 日 (土) | 鳥見山多目的広場、十六沼公園サッカー場 |
| 準決勝 … | 1 1 月 2 日 (土) | 仙台大学サッカーフィールド郡山 (西部サッカー場) |
| 決 勝 … | 1 1 月 1 6 日 (土) | 仙台大学サッカーフィールド郡山 (西部サッカー場) |

6. チーム構成

監督 1 名、役員 4 名、選手 2 5 名以内とする。

7. 参加資格

(1) 2024 年度、公益財団法人日本サッカー協会 (以下 JFA という) に加盟登録 (2 種及び福島工業高

等専門学校を含む)したチームである。

- (2) 該当学校に在学している者で、平成17年4月2日以降に出生した者に限る。
- (3) 当該学校長が大会出場を許可したチームで、選手は試合に耐えうる健康体であることを学校医が認めた者である。

8. 競技規則

- (1) 競技規則は、2024/25のJFA制定の「サッカー競技規則」に従う。
- (2) 交替選手は登録のうち5名とし、主審の許可を得て交替することができる。
- (3) **脳振盪による交代(再出場なし)の追加**を次の通り使用することができる。

1試合において、各チームは最大1人まで使用できる。

「脳振盪による交代」は、前に何人の交代要員が使われているかに関係なく、行うことができる。

「脳振盪による交代で入る交代要員」が使われたならば、相手チームは、(脳振盪に限らず)いかなる理由であっても「**追加の交代要員**」を使うことができる。

「脳振盪を受傷した、または、その疑いが生じた直後」や、「フィールド上での診断、またはフィールド外での診断後」や、「競技者が、その時より前に診断を受け、競技のフィールドに戻った場合を含め、それ以外で脳振盪を受傷した、または疑われるとき」はいつでも使用できる。

この交代は、「**脳震盪**」と記載した**交代用紙**を用いて、主審/第4の審判員に知らせる。

脳振盪を起こした、またはその疑いがある競技者は、PK戦を含むその試合の残りの時間に出場することができない。また、できる限り、更衣室や医療施設に関係者に付き添われて行かなければならない。

「脳振盪による交代」は、「**通常の交代**」の回数**の制限とは別に取り扱われる**。チームが「脳振盪による交代」を「通常の交代」に合わせて行った場合、1回の「通常交代」としてカウントされる。チームが「通常の交代」の回数を全て使い切ってしまったならば、「通常交代」のために「脳振盪による交代」の枠を使うことはできない。

チームが「**脳振盪の交代**」を行った場合、相手チームは1人の「**追加の交代要員**」を使うことができ、1回の「**追加の交代**」の**機会を得る**。この追加の交代回数は、「追加の交代要員」のため**にのみ**使うことができ、「通常の交代要員」には**使うことができない**。

- (4) 背番号は1~25までをつけ、新たに登録された選手は、登録変更された選手の番号を使用する。最初に登録されていた選手が登録変更後に戻る場合は、最初に登録された番号を使用すること。
 - (5) 選手変更については、毎試合5名まで選手変更ができる。メンバー表に記載すること。
 - (6) 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律フェアプレー委員会で決定する。
 - (7) 本大会中に2回警告を受けた選手は、次回の1試合の出場は認めない。
 - (8) 外国人登録選手は4名までとし、試合に出場できるのは2名までとする。
- (

9. 競技方法

- (1) ノックアウト方式とする。
- (2) 試合時間は80分とする。
- (3) インターバルは10分間とする。
- (4) 勝敗が決しない時は、20分の延長を行い、なお決しない時はPK方式により次回に進出するチームを決定する。決勝戦も延長は1回とし、なお決しない時はPK方式により優勝チームを

決定する。

- (5) 不測の事態で競技が中断した場合、その中断した状態で再開する。その際は競技本部へ必ず報告する。最大2時間を基準とする。

10. 参加料

10,000円（組合せ会議にて徴収します）

11. 会議

組み合わせ会議 8月26日（月） 13:30～
ユラックス熱海 大会議室

12. 開会式

組み合わせ会議を開会式とする。

13. 表彰

- (1) 第3位まで表彰する。
- (2) 優勝チームは、第103回全国高等学校サッカー選手権大会の出場権が与えられる。

14. メール申込先

郡山高校 渡邊 哲也

8月 10日（土）までにメール送信する。

学校長印を押印した原本を、組み合わせ会議時に提出する。

15. ユニフォーム

- (1) 参加校は正副の異色のユニフォームを用意すること。なお、異色とはシャツ・ショーツ・ソックスのそれぞれが異色であることをいう。
- (2) シャツの前面・背面に参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。ショーツの番号については付けることが望ましい。（なお、番号は1～25番までの通し番号とする。）また、副ユニフォームについても同様である。
- (3) 縞のユニフォームの背番号は台地に番号を入れること。
- (4) 審判と同一色（黒）または類似色（濃紺）のシャツを用いることはできない。
- (5) ユニフォームの色、選手番号の参加申込以後の変更は認めない。
- (6) その他の事項についてはJFA「ユニフォーム規定」に則る。

16. その他

- (1) マッチコーディネーションミーティングを試合開始70分前（準決・決勝は90分前）に大会本部にて行う。各チーム代表者は必ず出席すること。メンバー表（4部）、警告退場リスト、ユニフォーム、選手証を持参すること。
- (2) 各チームの登録選手は、原則としてJFA発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
※選手証とは、JFA WEB システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。